

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2単位 日本語教育能力	日本語教授法Ⅱ	矢端 晴美	1年次	春

授業のキーワード	日本語 国語 文法 動詞、形容詞の活用
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	日本語を言葉の仕組み＝文法という観点から整理・分析する。外国語と比較して、日本語らしい表現を学ぶ。
履修のアドバイス・前提科目等	「国語」で文法が苦手だった人、忘れてしまった人は、日本語文法を改めて学習するチャンスです。「未然連用終止連体」などという用語は使いません。「日本語教授法Ⅰ」で「世界の中の日本語の特性」を学習し、さらに「日本語教授法Ⅱ」で文法的な特性を学び、新しい視点で「日本語」を発見してください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	文法とは 日本語文法と国文法	文法がなぜ必要なのでしょう。文法で学ぶものはどんなことがあるのでしょうか。国語教育と日本語教育それぞれにおける「文法」の意味、位置づけを学習します。	第9講	「ほしい」「ない」「～したい」はどんな品詞でしょうか？	国語で助動詞として学習しましたが、日本語教育では形容詞です。活用から品詞を考えます。英語の「want」との違いは何か？
第2講	文型教育と提出順序	日本語教育はある意味で文型教育ともいえます。どんな順序で提出したら、日本語が学びやすく、また使えるようになるのでしょうか。	第10講	助詞のはたらき(第1講)	「猫がネズミにのみつた」「猫こネズミがのみつた」日本語助詞ひとつで意味が全く逆になることばです。「彼がよい」「彼でいい」この文の意味の違いは何か？「母と話して」「母こ話して」この違いは？
第3講	品詞分類	日本語教育と国語の品詞分類の違いを学びます。難しい用語は必要ありません。	第11講	動詞のテンス・アスペクト	「麦茶が冷えている」「麦茶が冷やしてある」「麦茶を冷やしておく」この3つの文の違いは何か？
第4講	動詞の活用(第1講)「動詞の活用による分類	国文法の活用の精髄点を考えながら、日本語教育の動詞の活用による分類をします。	第12講	動詞「あげる」・「もらう」・「くれる」	英語と対応しているのは「あげる」「もらう」。英語には「くれる」に相当する一語はありません。「くれる」って何でしょう。
第5講	動詞の活用(第2講)「動詞の分類の仕方」	日本語母語話者と学習者の動詞の分類の見分け方の違いを考えます。学習者がなった気持ちで考えましょう。	第13講	擬音語・擬態語	日本語の「様子を表すことば」に擬音語・擬態語があります。「ひりひり」「びりびり」「びりびり」ときいてイメージする様子は何でしょう。どうして細かいニュアンスの違いを感じ取るのでしょうか。
第6講	動詞の活用(第3講)「動詞の活用形の作り方」	動詞の分類がしたがつて、「可能形」「受身形」「使役形」「て形」の作り方を考えます。ら抜きことば、さ付きことばがどのようにして生まれたかも見えていきます。	第14講	まとめ	
第7講	動詞の活用(第4講)「～がる」とか、「はるみる」とか「名前＋る」のような架空の動詞を活用できたら、	3講までご学習した事柄を活用して、実際には存在しない動詞を、分類し、正しく活用させてみます。	第15講	期末試験	
第8講	形容詞とは？	い形容詞、な形容詞について学びます。名詞も動詞も形を変えれば形容詞のような働きをします。「大きい」「大きな」「いい」「同じ」など注意すべき形容詞もとりあげます。	評価方法		出席10% レポート40% 試験50%
備考 (関連する資格・試験等)		日本語教育能力検定試験対策「文法」の一環となります。			
使用する教科書(必ず購入してください)			参 考 文 献		
新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 高見沢孟監修 アスク出版			教えるための言葉の整理vol.2 丸山敬介 凡人社 やさしい日本語のしくみ 庵功雄也 くらしお出版		